

4 . 新しい地殻変動で湾曲した段丘面

(長岡市脇野町～関原町付近)

脇野町～鳥越のすぐ西で南南西にのびる長くて狭い小さな丘(赤矢印)。
関原からその南方に広がるゆるい傾斜のゆるく波打つ台地。
いずれも5万～10万年以上前、信濃川が運んできた砂利がたまっている。
どちらもかつての信濃川の川原または氾濫原 隆起して河岸段丘に。
平らなはずの段丘面がかまぼこ型にまたは波打つように変形。
これらは西山丘陵側を隆起させ、平野側を沈降させる運動の一部。

